

なかごう 9月号

中郷地区公民館だより 令和8年9月発行

発行 中郷地区公民館 Tel39-0713



梅北保育園 竹太鼓「好きすぎて 滅！」



やすひさ幼稚園 エイサー「オジー自慢のオリオンビール」

文化財活用ワークショップが開催

「地域の宝を見つけよう！」と題した文化財保存活用のためのワークショップが中郷地区公民館で開催されました。

これは、都城市教育委員会文化財課が文化財保存活用地域計画を策定するに当たり、市内の15地区の住民の声を反映させようと開いたもので、中郷地区が第1回の開催地となりました。

8月1日(土)にあり、各自治公民館館長を始め、まちづくり協議会役員など20人が参加。4つのテーブルに分かれて話し合いを進めていきました。

中郷地区にどんな文化財があるのか、文化財の保護に関して困っていることや問題となっていることなどはないかなど、それぞれが意見を出し合い、班ごとに発表を行いました。

西生寺跡の石仏・石塔群や正応寺跡の石塔群などの史跡が話題になり、「市指定になっていない石碑が管理できていない。草刈りをしないと」、「地域住民に知られていない」、「住民の愛着がないのでは」、「車で行けない」などの意見が出ました。

また、「ゆべし」や「がね」、「まぜめし」などの郷土料理についても意見が出され、「どうやって継承していけばよいか」「ビデオ保存やYouTubeを活用して残して行けば」などと議論されました。



▲付箋を用いてさまざまな意見を出し合う参加者

人権かるたで人権感覚を磨く

高齢者いきいき学級は第4回学習会を開き、人権擁護委員の黒木正弘さん外4人の委員の方々を招き人権教室を行いました。

8月25日(火)に中郷地区公民館であり、48人の学級生が参加。8テーブルに別れ、『肩の凝らない人権学習』と銘打って講義が進められました。

初めに講師の黒木さんが「人権とは？」と題して画面を使って講義を行い、「基本的人権は幸せを求める権利で人権は誰にとっても身近で大切なもの」と説明をしました。

その後、『人権かるた』はかるた遊びを通して人への優しさや思いやりの心、命を大切にすることを目的に平成22年に作成された。読み札は宮崎県内の小中学生の応募作品1,700点の中から45句が選ばれ、絵札は宮崎日大高校の学生が描いた」と説明がありました。

黒木さんが下の句から読み、後に上の句を読んで、かるたをとっていくルールで行い、

ねがうこと みんな平等 あかるい社会

よのなかは 一人ひとりが 主人公

おもいやり 心にまんたん つめておこう

などの句が読み上げられ、学級生は目を凝らして、絵札を探していきました。



▲集中して絵札を探す学級生

納涼祭で“酷暑”を吹き飛ばせ

夏の風物詩となっている中郷地区納涼まつりは8月22日(土)に中郷地区公民館駐車場で開かれ、中郷中学校吹奏楽部の演奏、地域の保育所、認定こども園、ゲスト出演のエイサーチームあばれんの踊り、各自治公民館からの出し物などでにぎわいました。



▲中郷中学校吹奏楽部の演奏で祭りがスタート



▲親子で元気いっぱいの踊りを披露したくまもと家



▲素敵な衣装、正応寺高齢者クラブの「真っ赤な太陽」



▲中郷保育所 元気いっぱい! 「学園天国」



▲華やかな装い 西豊満踊り愛好会の鳥取傘踊り



▲ユーモラスな下安久のシャンシャン道中馬小唄



▲麓壮青年会のヒーローショー ～麓の米騒動～